



相談時間等

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分  
電話0267-56-3131 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時  
電話0267-56-1076 (呼)
- 立科町児童館/  
午前11時50分～午後1時40分  
電話0267-56-0303 (直通)

(担当 指導主事 中島一彦)

指導主事だより

# なんだかうれしい

教育委員会

帰りの放送が静かに流れ始める校舎内。

その音楽に合わせるように、子どもたちが教室から、昇降口玄関に向かって歩き出します。楽しそうなおしゃべり、友だちを追いかけるように駆け出していく子どもたち。「先生、また明日ね・・・」笑顔で帰路につく女の子。

そんな子どもたちの後ろ姿に呼びかけるような声が校舎全体に響き渡ります。

「今日も一日、楽しく過ごすことができましたか?～」間を置きつつ、全校の子どもたちひとり1人に向かって語りかけるような響きに聞き入りました。

## 未来のわたし

誰がしゃべってくれているのだろうか?

そんな思いに突き動かされ、二階の放送室に駆け込みました。

放送室から女の子が出てきました。Yさんでした。

「すごいね。言葉が伝わるよ。じょうず!」そんな声がけをしました。

「ありがとうございます」とさわやかな笑顔で応じてくれました。

放送室の施錠をし、静かに帰路についていくYさん。

「居ないけれど、居る」の思いを持ちながらマイクに向かっていく・・・。

そんな心根をYさんは自身の内側に育てている。

私自身の心に深く刻まれる出来事になりました。



作品名 未来の私【声優】

氏名 Y

1ヶ月ほどした終業式間際のことです。6年生授業参観のために、教室に向かいました。

廊下に差しかかった時、ふっと目にとまったものがあります。

6年生の子どもたちが「未来の自分」をテーマに作り上げた石膏像の作品群です。左端の作品が目飛び込んできました。「マイクを前にして語りかける像」でした。

そこに添えられたテーマラベル『未来の私「声優Y」』にハッと、ひと月ほど前の出来ごとが浮かび上がってきたのです。

「居ないけど居る」そんな思いを育てながら、ひとつのことに向かうYさんの心の輝きが見えてきたのです。

